

# 03 今年の「聞き書き甲子園」がスタートしました!

「聞き書き甲子園」は今年で25回目を迎え、これまで2,200人が参加しています。

5月から募集を開始し、志望動機の作文等の選考を経て、参加する高校生65名が決定します。高校生は、「聞き書き」のコツ等を研修で学んだ後、全国の12の地域に暮らす、森・川・海の名人たちを取材し、話の内容を作品にまとめます。

優秀な作品には、農林水産大臣賞、林野庁長官賞等が授与されます。



## 聞き書き甲子園とは

日本人は古くから、優れた知恵や技により、森・川・海の自然を守り、育て、その恵みを得ながら営みを続けてきましたが、農山漁村の過疎化が進み、森・川・海と共に生きる知恵や技が失われつつあります。

「聞き書き甲子園」とは、全国から選ばれた高校生が、日本各地の森・川・海の「名人」を訪ね、一対一で「聞き書き」するプロジェクトで、知恵や技の継承とともに「自然と向き合う仕事の大切さ」や「地域ごとに特色ある生活文化の豊かさ」を広め、併せて、持続可能な未来を担う次世代を育成することを目的としています。



## 「第24回聞き書き甲子園」優秀作品の紹介

### 農林水産大臣賞

作品名：一焼百生(いっしょうひゃくしょう)～動物と、あなたとかちゃーり～

高校生：田上 葵さん (宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校5年)

名人：椎葉 勝氏 (宮崎県椎葉・西米良地域/伝統農法(焼畑))

聞き書きを終えた感想：自分の生き方を貫く、周りの人との繋がり、地域との繋がり、山に住む生き物との繋がりを大切にする、名人の言葉は、私自身の生き方を見つめ直すきっかけになりました。



田上さん(左)と聞き書き甲子園実行委員長(当時) 濫澤 寿一氏

### 林野庁長官賞

作品名：助け合いの組織で山をつくる

高校生：大井 やよいさん (東京都中央大学杉並高等学校2年)

名人：阿部 政夫氏 (岩手県東稲山麓地域/林業(造林))

聞き書きを終えた感想：林業と農業は循環の中でつながっていて、人の営みさえも自然とのつながりがあることに気付いて驚きました。



対談する大井さん(左)と林業(造林)名人の阿部氏(中央)



◀ 聞き書き甲子園  
YouTubeチャンネル

フォーラムや参加高校生の感想等の動画をご覧になれます。



◀ 聞き書き甲子園  
ウェブページ

詳しい情報は、こちらをご覧ください。  
<https://www.kikigaki.net/>



◀ 聞き書き甲子園  
電子図書館

参加高校生の作品と、名人のプロフィールの検索・閲覧が可能です。

※ 作品全文を閲覧するには、会員登録が必要です。